

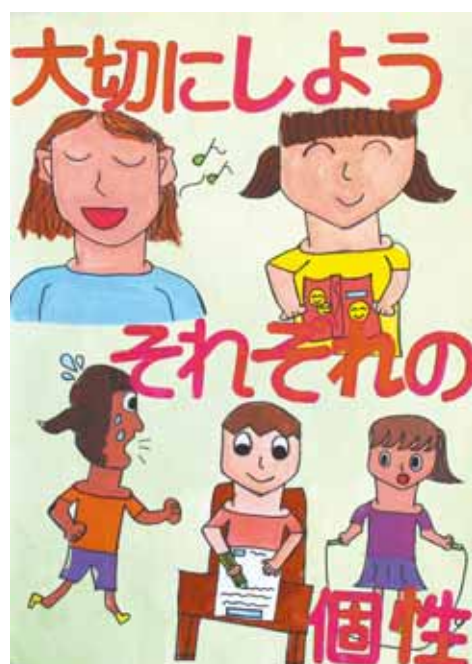
伊予市 じんげん教育

一人ひとりの人権が尊重される
明るい伊予市をめざして



2021
No. 34

■編集・発行
伊予市教育委員会
愛媛県人権教育協議会伊予市支部
〒799-3113 伊予市米湊 820 番地
TEL 089-982-5155 FAX 089-982-5156



郡中小4年 大西 結菜



今年度も人権啓発・人権意識の高揚を目的として、人権啓発作品を募集したところ、多くの応募をいただき誠にありがとうございました。

応募数は、小学生307点、中学生113点、高校生19点、成人108点、総数547点でした。最優秀、優秀に輝き入賞された皆様おめでとうございます。

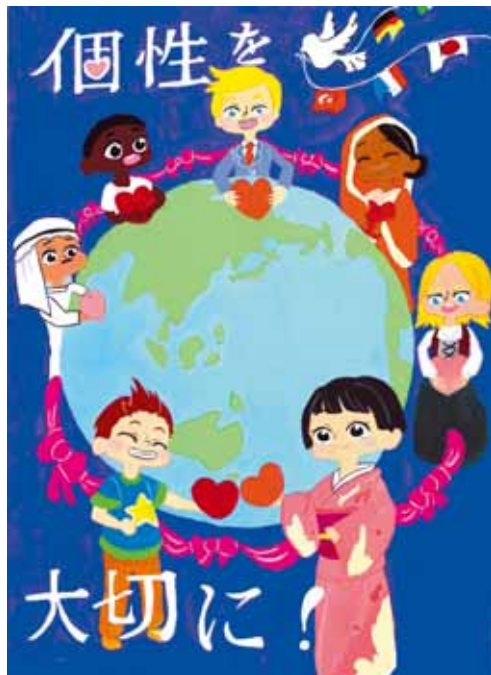
伊予市人権啓発作品（最優秀）の紹介



中山小6年 木下 寛太



郡中小5年 玉井 渚



伊予中2年 島津陽向



伊予農高1年 菊池優生



中山中3年 杉本明莉

虹
港南中学校 二年 和氣 央真

人の世は 虹のようにあるべきだ
一つの色が 輝くのじゃない
全ての色が 輝くのだ
色の価値は 全てが同等
一部が輝く世は おかしい
全ての人が 輝くべきだ
人の価値は 全てが同等
虹のように 皆が輝く世を作りたい



大切なきずな

北山崎小学校 四年 渡部 玲奈

友達であっても
知らない人であっても
お年よりであっても
若者であっても
外国に住んでいても
近所の人でも
しょうがいがあったとしても
なくっても
「だいじょうぶだよ。」
「ーしょにがんばろう。」
「おうえんしているよ。」
「助けられることある?」
みんなで声をかけ合えば
楽しい事もいっぱいふえて
みんなで声をかけ合えば
笑顔も生まれる
みんなで声をかけ合えば
やさしさが広がり
みんなで声をかけ合えば
差別もなくなる
みんなで声をかけ合えば
きずなはもっと深まり
大切な思い出ができる

絆百パーセント

郡中小学校 五年 松田 柚希

明るい子

クラスのみんなを明るくする
そしたらみんなも明るくなって
クラスのみんなに笑顔がふえる
クラスみんなでがんばれば
クラス的笑顔百パーセント

考える子

自分の意見を発言する
そしたらみんなの意見がふえて
クラスのみんなを正しく導いてくれる
クラスみんなががんばれば
クラスのやる気は百パーセント

親切な子

クラス一人ひとりに声をかける
そしたらみんなも声をかけ合い
クラスで一人ぼっちがいなくなる
クラスみんなががんばれば
クラスの優しさ百パーセント

がんばる子

最後まで一生けん命やりきる
そしたらみんなのやる気がふえて
クラスみんなが団結する
クラスみんなががんばれば
クラスの絆は百パーセント

「仲間と立ち向かう」

伊予小学校 六年 武智 衣代

いじめを受けている子がいた
私は止めることができなかった
先生に言おうかと悩んだけど
自分もやられるかも:
そう思うところがあった
でも

見て見ぬふりなんていやだ
かつこ悪い
そして助けたい
その子をいじめている人も

私は信頼できる友達に言った
友達といっしょに仲間を増やした
先生もいっしょに
そして私たちの絆は
差別に勝った





「ばあば、長生きして」

伊予小学校 四年 大石 香月

私には、とても大好きなばあばがいます。ばあばは、私が家に遊びに行くと、いつもやさしい笑顔で話してくれます。私はばあばと話すことが大好きです。でも、この前かなしいことがありました。

「私が子どもを産んだら、いつしよにあそんでね。」

と何気なくばあばに話すと、「生きているかな。」

と言われました。もしかするとにん知しようになつてしまふかもしれないのです。私のばあばが私のことをわからなくなつてしまつたらとてもいやです。

私のじいじは、昔、心ぞうが止まつて死にそうになつたことがあるそうです。でも、今は病気とたたかつて元気になりました。じいじは、私と買ひ物に行くと何でも買つてくれます。

「かつちゃん。なんでも買ひよ。」

というやさしい声にはいつもほつとします。私のひいおじいちゃんは、私が小さいときに亡くなつてしまつて、記おくにありません。でも、お母さんやおばあちゃんに聞くと、とてもかつこいい人だつたようです。私は、ひいおじいちゃんも長生きしてもらいたかつたです。そして、もつとたくさんのお出を作りたいかつたです。

人はかならず年をとつていき、体が弱つていきます。その中でにん知しようなどの病氣にかかつてしまふこともあります。人間はいつかぜつたいに死んでしまふのです。だから一日一日を大切に生きてることが大事だと思いました。

これから、ばあばやじいじのような高い者の方やしょうがいのある方が困つていたら助けたり、自分ができることなどをしてたりして、その人たちをよろこばせたいです。私の周りのみんなが笑顔になるといいなと思います。

そこで、私なりの「笑顔せんげん」を考えました。これは、「これならできる」と私が自信をもつて言えることです。

一つ目は、「笑顔で接する」です。どんな時でも私は笑顔を意しきします。私が笑えば、みんなも笑つてくれると思うからです。

二つ目は、「相手のことをこれまで以上に考える」ことです。相手の人の気持ちになつて行動することで、みんながきずつかないですむと思うからです。

この二つは、だれに対しても大切なことです。だから、さつそく今日から実践していきます。



思いやる気持ち

佐礼谷小学校 五年 松岡 真心

今、世界は、新型コロナウイルスのせいで大変なことになっています。病氣は治す薬がまだできていないからこわいけど、それ以上にこわいことがあると思います。それは、新型「コロナウイルス」にかつた人が差別されるということです。実際に、感染者の家に「コロナ」と書かれた紙がはられていたり、いやがらせをされて、家から追い出されたりすることが全国各地で起つていて聞きました。学校では、少し体調が悪いだけで、「コロナ」とか「バイキン」とかと呼ばれ

ていじめられることがあるそうです。病院で働いている人が、近所を歩いていたら、「ウイルスをまき散らしている」と言われたり、病院で働く人の子どもが、学校で「バイキン」と言われたりしたこともあるそうです。この話を聞くと、自分がコロナウイルスに感染したり体調が悪くなって「いじめ」にあつたりしたら、学校に行けなくなるし、友達としていられなくなります。どうして、相手の気持ちを思いやれないのでしょうか。

現在、日本や世界には、さまざまな差別の問題があります。それだけ、差別で苦しんでいる人が多いということです。ぼくは、いじめと障がいのある方に対する差別について調べてみました。学校でのいじめは、ネット上でのいじめまで起っているそうです。

SNSを使って、悪口を流されたりみんなから無視をされたりということがあるそうです。ぼくだったら学校に行きたくなくありません。本当にいじめめる人の気持ちは分かりません。多くのクラスは三人です。けんかはあるけど、みんな仲良しです。だれかがだれかをいじめるということはありえませんが、障がいのある方に対する差別もおどろきました。障がいは、その人が持ちたくて持っているわけではありません。「大変ですね」「や」「かわいそう」という言葉も相手を傷

付けることになるということを知りました。ぼくが言われたとしたらやっぱりやだなと思います。やはり相手を思いやることが大切だと思います。

ぼくが通っている習い事に、障がいのある友達があります。ぼくは、その友達と仲がいいし、他の友達も仲良くしています。そして、その子の家族は、その子のことをとても大切にしています。その友達は、手足が思うように動きません。話をするのもゆっくりです。ぼくは、その友達と話をするのが楽しいし、その友達が大好きです。どうして障がいがあると差別されるのでしょうか。全く分かりません。その友達が差別されると考えたなら、差別をする人が本当にゆるせないと思います。

差別をする人は、相手の気持ちを考えていません。相手のことを思いやることでできれば、差別はなくなるのではないかと思います。とても簡単なことだと思うのに、どうしてなくならないのでしょうか。ぼくは、相手を思いやれる、そんな人間になりたいと思います。



私のお姉ちゃん

郡中小学校 六年 曾根 遙

私のお姉ちゃんには障がいがあります。今は特別支援学校の高等部三年生です。お姉ちゃんの障がいは、知的障がいと自閉症です。小学校二年生の時から特別支援学級やデイサービスにも入って、一生けん命勉強をしています。私は、お姉ちゃんにどのようなことが大変なのかを聞きました。すると、「声の大きさを調節がうまくできない。」と言っていました。ですが、お姉ちゃんは、その声の大きさを意識することで、少し声の大きさを調節ができるようになったそうです。

お姉ちゃんには障がいがありますが、いろいろなことができます。例えば運動です。運動会では、リレーで二位を取ったり、五十メートル走では九秒台を出したりできます。また、家の手伝いは、言われたことを進んでやることができます。私は、面倒だと言つて、なかなかやりません。お母さんにお手伝いをしと言われても「分かった。後でやる。」などと言つて、やらないことが多いです。ですから、進んで行動に移すお姉ちゃんを尊敬しています。

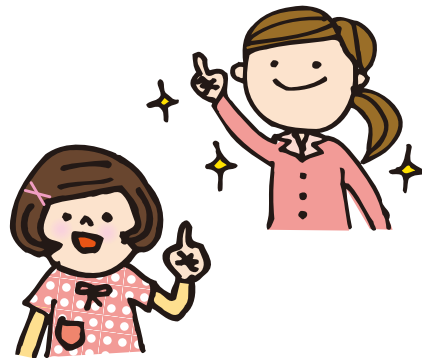
私は、そんなお姉ちゃんを障がい者とし

で見えています。その理由は、とても積極的に動いているからです。お姉ちゃんは、特別支援学校の高等部三年生です。もう二年生なので、就職先を決めないといけません。なので、この夏休みには実習に行っています。大型ショッピングモールにある薬局、ホテル、社会福祉施設のうどん店に行っています。「どれも完ぺきにこなそうとしている。」とお母さんから聞いています。そんなお姉ちゃんですが、実習のことで失敗することもあるそうです。それでも一生けん命あきらめずにやろうとしているお姉ちゃんは、とてもすごいと思いました。

このお姉ちゃんのことがあつて、障がいがあるからこれができない、障がいがないければこれができる、などの問題ではなく、障がいがあるからこそできる仕事や、得意な仕事があるのではないかなあと思いました。よく考えてみたら、私にも不得意なこともあるし、得意なこともあります。得意なことを仕事にできたら幸せでしょう。でも、不得意なことに直面しても、一生けん命やったらできることもあるかもしれません。障がいがある、ないに関わらず言えることです。

このように、お姉ちゃんのことを考えることを通して、障がいのある人でも、みんな得意なことや不得意なことがある同じ人間

なんだなと改めて学ぶことができました。これからも、お姉ちゃんに関わり、きょうだいそろつてお手伝いをしたいです。また、お姉ちゃんの得意な運動、そしてお絵かきや料理も一緒にやり、仲よく楽しく暮らしたいです。



差別を終わらせたい

港南中学校 二年 筒井 杏奈

私の部落差別との出会いは、小学校六年生の時です。差別と闘っている方が学校に来て、話をしてくれました。最初、その方は名前を言わず、お話をされていたことを覚えています。私たちの授業を見ていただいたり、私たちの思いや考えを聞いていただいたりしました。私はその方に質問しました。「お子さんの学校はどこですか」と。私は、ただ話をして親しくなりたいという気

持ちだったのですが、その方は「なぜ？」と疑問を抱いていました。学習した今なら分かります。興味本位で聞くことが、相手をどんなに傷つけるかということを。しかし、その質問にも答えてくれ、最後には名前も教えてくれました。私たちが差別をなくす仲間として信頼してくれたからです。私はこれまで、その信頼に応えてきたでしょうか。応えるために何か行動を起こしたでしょうか。いいえ。残念ながらできていません。

行動に移すというのは難しいことです。しかし、全国水平社が一人の思いではなく何万人、何百万人もの人々の思いを集結して設立されたように、仲間と共に伝えることには大きな力があり、多くの人の心を動かすことができます。私には「差別をなくしたい」という同じ思いを持つたくさんの仲間がいます。私たちはまだスタートラインに立つたばかりです。先輩方は一歩前を進んでいます。学校の先生方も学び続けています。隣保館の館長さんや教育委員会の方も、先輩や先生方とともに学んでいます。私たちも、今、仲間と支え合いながら、大きな一歩を踏み出します。

人権委員会では、今年の夏、水平社について学習しました。来年度が全国水平社創立百周年の年になると聞きました。その話を

聞いたとき、私はすごいと思いました。反面、嫌な気持ちにもなりました。百年間という長い間、差別に苦しみ、つらい思いをしてきた人たちがいるからです。数え切れない人が差別をなくそうと闘ってきました。それでもなくすことができていません。それは、差別をする人、差別を見て見ぬふりをする人、差別について知らない人がいるからです。「差別をなくしましょう」「差別をなくしたい」という生半可な気持ちではダメなのです。私は差別が残ったまま、十年後の水平社創立百十周年を迎えたくはありません。差別をなくすために、命を懸けて立ち上がった人々の意思を受け継いで、私は、本気で学び、本気で行動します。港南中学校は、私たち人権委員も、他の生徒も、先生も、卒業生も、設立した人々の思いを受け継ぎ、学んでいきます。「差別をなくす仲間」としてつながっていきます。私が差別をなくします。



人権標語

最優秀作品



◆ てをつなぎこころもつなぎつくろうよ！

ともだちのわ

北山崎小 一年 福井 月優

◆ 大切な友 スマホの中より 君のそば

中山中 一年 本川 太陽

◆ すてきだね 十人十色 みんなすき

伊予小 二年 高橋 心采

◆ ありがとうと君が笑うからつられちゃう

港南中 二年 谷川 萌々果

◆ だれ一人かなしい思いさせない輪^わ

郡中小 三年 本東 心海

◆ スマホを置いて 話そうよ

今日は何した 明日は何する？

双海中 三年 川西 ののは

◆ 相手の気持ちになってみて

悲しい気持ち分かるかも

由並小 四年 大野 伶音

◆ 体は三密防止 心はいつも 君のそば

北山崎小 五年 有本 悠人

◆ わたし発 みんなに広がれ 思いやり

伊予農高 三年 小原 結衣

◆ やめようや 出した言葉は もどらへん

下灘小 六年 戸田 菜乃花

◆ 心にはとらないソーシャルディスタンス

北山崎小PTA 星川 春香

優秀入賞者

* 人権ポスターの部 *

北山崎小	四年	神足	祐妃
郡中小	四年	大西	柚夏
郡中小	五年	井上	凜
由並小	五年	中村	芽依
南山崎小	六年	塩見	柚七
中山小	六年	城山	晴
港南中	二年	宮崎	ひめか
中山中	三年	嶋田	穂乃花
伊予農高	一年	藤原	あみ

* 人権詩の部 *

郡中小	四年	岡井	絢音
伊予小	五年	池内	結
北山崎小	六年	福井	結羅
双海中	一年	伊藤	優希
中山中	三年	嶋田	穂乃花

* 人権標語の部（児童・生徒） *

伊予小	一年	那須	心春
佐礼谷小	一年	井川	音和
郡中小	二年	大塚	由希
中山小	二年	長野	葵
北山崎小	三年	近藤	魁人
下灘小	三年	三井	朝喜
南山崎小	四年	田頭	風晴
中山小	四年	下柳	咲葵
佐礼谷小	五年	北岡	姫奈
翠小	五年	岡	蒼汰
北山崎小	六年	鎌田	琉聖
郡中小	六年	岡本	千佳
港南中	一年	宮内	真妃呂
伊予中	一年	世良	木乃葉
港南中	二年	松浦	暁心
伊予中	二年	両村	優太
港南中	三年	山本	航世
中山中	三年	宮本	蒼司
伊予農高	一年	和泉	斗馬
伊予農高	一年	水口	拓馬

* 人権作文の部 *

南山崎小	四年	松井	千奈
郡中小	五年	飯田	空武
伊予小	六年	安岡	風香
伊予中	三年	向井	絢菜
中山中	三年	杉本	明莉

* 人権標語の部（成人） *

南山崎小PTA	篠崎	亜由美
南山崎小PTA	児玉	沙弥
北山崎小PTA	森脇	早苗
郡中小PTA	河野	絢
郡中小PTA	吉岡	佳代
伊予小PTA	小笠原	静江
中山小PTA	伊豫岡	百合子
佐礼谷小PTA	横山	裕輝
由並小PTA	中村	祥子
下灘小PTA	魚見	理香
港南中PTA	原田	衛